チョイソコいながわ 有償実証実験における 事業評価と達成状況について

令和 4 年 (2 0 2 2 年) 5 月 猪名川町



■ 事業評価方法

- 〇 利用者、各事業者及び町が各役割を担い、持続可能な運営を行うためには、明確な評価指標を設け、定期的 に検証を行う必要がある。
- 評価指標が達成されない場合は、改善策の検討·実施を行い、目標が達成された場合でも利便性向上に向けた 改善策の検討·実施を行う。

■ 事業評価指標の設定

〇 持続可能な交通システムの実現に向けて、運行継続・運行内容の見直しの判定を行うために、「運行評価指標」を設定し、以下に示す項目を評価することで、事業としての方向性を検討する。

1. 運行評価指標

- チョイソコいながわの有償実証実験での運行について評価指標を設定
- 2. 特別運行評価指標
 - ・ 大島地区での平日特別運行、休日特別運行について評価指標を設定
- 3. 顔認証システムに対する評価指標
 - ・運賃支払い手法として「顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システム」を導入するため、「顔認証システム」の稼働状況に対する評価指標を設定

1. 運行評価指標

- 1 利用者数
 - 利用状況を評価するため、「利用者数」を評価指標として設定
- 2 乗合率
 - 乗合交通としての運行状況を評価するため、「乗合率」を評価指標として設定
- ③ 収支率
 - チョイソコいながわ事業を継続するためには、財政負担により賄われる運行経費の負担状況を示す収支状況も考慮する必要があるため、「収支率」を評価指標として設定
- ④ チョイソコいながわ会員登録者数
 - チョイソコいながわの運行に関する情報が正しく伝わり、その他に移動手段がない等、本当に必要な人が 使えるように利用登録しているかどうかを測る指標として、「会員登録者数」を評価指標として設定

2. 特別運行評価指標

- 1 利用者数
 - 利用状況を評価するため、「利用者数」を評価指標として設定

3. 顔認証システムに対する評価指標

① 顔認証システム登録者数

チョイソコいながわの登録者数に対する顔認証システムの登録者割合の状況を把握するために「顔認証システム登録者数」を評価指標として設定

② キャッシュレス決済システム登録者数

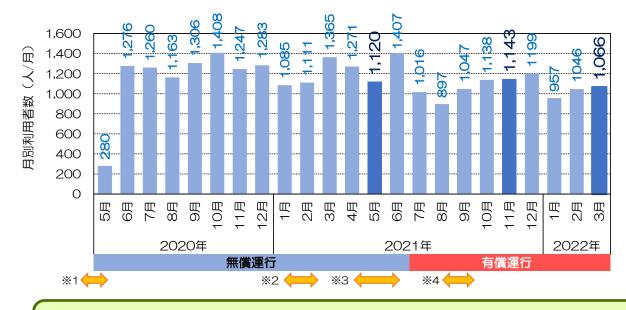
顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システムは、利用者の料金支払いの負担軽減を図るために 有効な手法の一つとなる。顔認証システムを活用したキャッシュレス決済システムの稼働状況を把握する ために「キャッシュレス決済システム登録者数」を評価指標として設定

■ 事業評価指標の達成状況及び目標値

評価	ā指標•項目	実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	実績値 (2022.3時点)	目標値 (2022.3)
	利用者数	1,120人/月	1,143人/月	1,066人/月	1,200人/月
1. 運行	乗合率	1.95人	1.94人	1.74人	2.00人
評価指標			17.1%	16.8%	20.0%
	チョイソコいながわ 会員登録者数	1,011人	1,052人	1,071人	1,100人
2. 特別運行	利用者数(平日特別運 行18時~21時)	26人/月	1人/月	12人/月	60人/月
評価指標	יייי דו איייי דו איייי דו איייי דו איייי דו איייי דו איייי דו		44人/月	25人/月	100人/月
3. 顔認証シス	顔認証 システム登録者数	29人	92人	100人	100人
テムに対する評価指標	キャッシュレス 決済システム登録者数	— (無償運行による)	54人	62人	40人

評価	評価指標・項目		実績値 (2021.11時点)	実績値 (2022.3時点)		
1. 運行 評価指標	利用者数	1,120人/月	1,143人/月	1,066人/月	1,200人/月	

●月別利用者数の推移(運行開始以降)

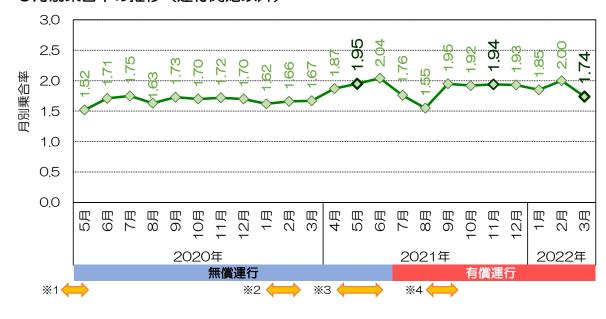


:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

- 利用者数は、有償化による料金負担に対する抵抗感、大島小学校の夏季休暇及び新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出に伴い、令和3年(2021年)7月から8月にかけて減少した。9月以降は大島小学校の夏季休暇の終了により、増加傾向となっていたものの、令和4年(2022年)1月に減少し、令和4年(2022年)3月は1,066人/月である。
- 目標値の達成に至ってはいないが、令和3年(2021年)9月以降は概ね1,100~1,200人/月で推移しており、引き続き利用促進等を行う必要がある。

評価	i指標•項目	実績値 (2021.5時点)	実績値 (2021.11時点)	実績値 (2022.3時点)	目標値 (2022.3)
1. 運行 評価指標	乗合率	1.95人	1.94人	1.74人	2.00人

●月別乗合率の推移(運行開始以降)



:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

- 乗合率は、有償化による料金負担に対する抵抗感及び新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出による利用者の減少により、 令和3年(2021年)7月から8月にかけて減少したが、9月以降は増加したものの、令和4年(2022年)3月時点では1.74となっている。
- 目標値の達成に至ってはいないが、令和3年(2021年)9月以降は無償運行時と比べて高い値で推移 しており、引き続き乗合利用等の促進を行う必要がある。

評価	i指標•項目	実績値 実績値 (2021.5時点) (2021.11時点)		実績値 目標値 (2022.3時点) (2022.3)	
1. 運行 評価指標	収支率	— (無償運行による)	17.1%	16.8%	20.0%

●収支率の推移(有償運行開始以降)

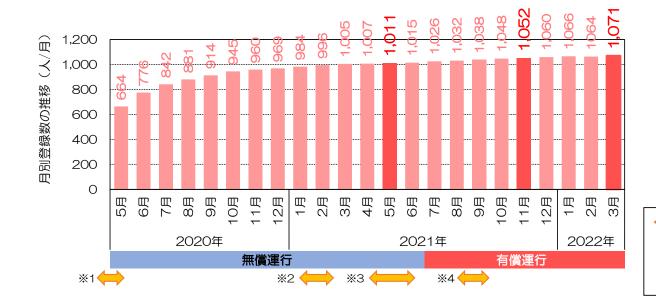


: 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間 (※1:2021年8月20日~9月30日)

- 収支率は、運賃収入分が約10~12%で推移し、協賛金分が約5~6%となっており、全体の収支率は 令和4年(2022年)3月時点で約17%である。
- 引き続き利用促進するとともに、新たなスポンサー獲得の推進を図る必要がある。

評価	評価指標•項目		実績値 (2021.11時点)	実績値 目標値 (2022.3時点) (2022.3)	
1. 運行 評価指標	チョイソコいながわ 会員登録者数	1,011人	1,052人	1,071人	1,100人

●月別会員登録者数の推移(運行開始以降)



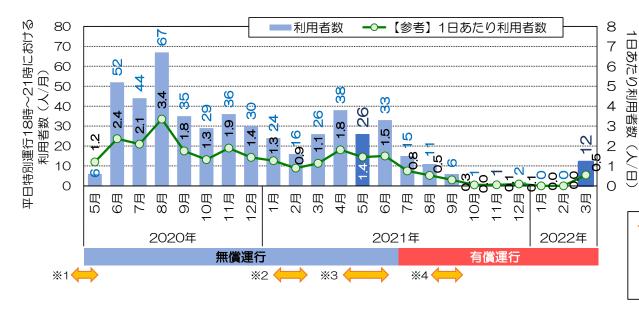
:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

※1:2020年4月7日~5月21日 ※2:2021年1月14日~2月28日 ※3:2021年4月25日~6月20日

- ※4:2021年8月20日~9月30日
- 会員登録者数は、運行を開始した令和2年(2020年)5月から11月頃まで増加し、12月以降は微増 傾向にあり、令和4年(2022年)3月時点で1,071人である。
- 目標値の達成に至ってはいないが、目標値に近い値となっており、引き続き新規会員登録者の獲得に向 けた取組みを推進する必要がある。

≣ 平佃	i指標•項目	実績値 実績値 (2021.11時点)		実績値 (2022.3時点)	目標値 (2022.3)
2. 特別運行 評価指標	利用者数(平日特別運 行18時~21時)	26人/月	1人/月	12人/月	60人/月

●平日特別運行18時~21時における利用者数の推移(運行開始以降)

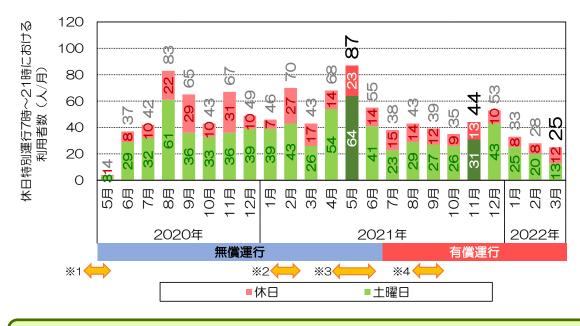


:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

- 平日特別運行18時~21時における利用者数は、令和2年(2020年)6月から8月にかけて増加したが、9月以降は概ね20~30人台で推移している。有償運行を開始した令和3年(2021年)7月以降は大きく減少しており、令和4年(2022年)3月時点で12人/月である。
- 利用者が著しく少ない状況にあるため、令和4年(2022年)4月からの本格運行は平日特別運行18時 ~21時を見直し、7時~18時の運行としている。

評価	·指標•項目	実績値 実績値 (2021.5時点) (2021.11時点)		実績値 (2022.3時点)	目標値 (2022.3)
2. 特別運行 評価指標	利用者数(休日特別運 行7時~21時)	87人/月	44人/月	25人/月	100人/月

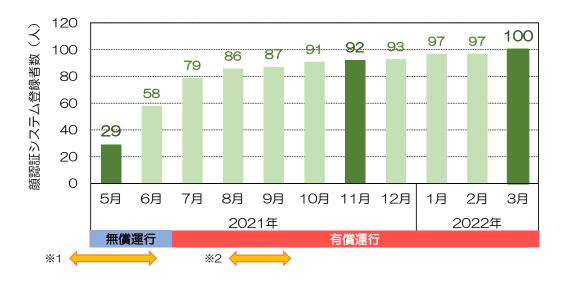
●休日特別運行7時~21時における利用者数の推移(運行開始以降)



- 休日特別運行7時~21時における利用者数は、有償運行を開始した令和3年(2021年)7月に減少し、 ほぼ横ばいで推移していたものの、令和4年(2022年)1月以降は減少傾向にあり、令和4年 (2022年)3月時点で25人/月である。
- 土曜日の利用が日曜・祝日と比べて多い状況を踏まえ、 令和4年(2022年)4月からの本格運行は大島地区では日曜・祝日を運休及び阿古谷・松尾台地区では土曜日の運行拡大を行っている。

評価指標•項目	実績値 実績値		実績値	目標値
	(2021.5時点) (2021.11時点)		(2022.3時点)	(2022.3)
3. 顔認証システムに対する評価指標類認証システム登録者数	29人	92人	100人	100人

●顔認証システム登録者数の推移(令和3年(2021年)5月以降)



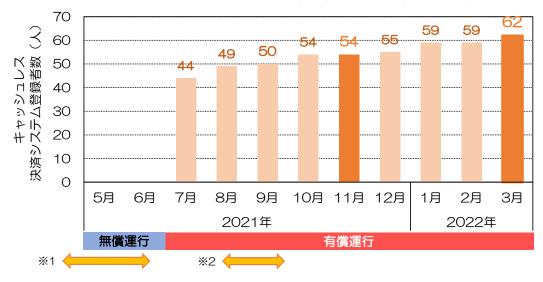
: 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

(※1:2021年4月25日~6月20日 ※2:2021年8月20日~9月30日

- 顔認証システム登録者数は、令和3年(2021年)6月から7月に実施した大島地区自治会説明会や日生中央サピエ内にあるチョイソコ予約センターでの立ち上げとして初回登録キャンペーンの実施により、令和4年(2022年)3月時点で100人である。
- 目標値を達成しているが、顔認証システムの継続実施を図る上でも、引き続き顔認証システム登録の促進を行う。

評価指標•項目	実績値	実績値	実績値	目標値
	(2021.5時点	(2021.11時点)	(2022.3時点)	(2022.3)
3. 顔認証シス テムに対す る評価指標 決済シス	1 レス ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ―	3) 54人	62人	40人

●キャッシュレス決済システム登録者数の推移(令和3年(2021年)5月以降)



:新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間

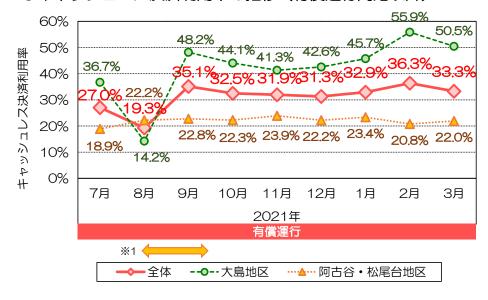
※1:2021年4月25日~6月20日※2:2021年8月20日~9月30日

- キャッシュレス決済システム登録者数は、令和3年(2021年)6月から7月に実施した大島地区自治会説明会や日生中央サピエ内にあるチョイソコ予約センターでの立ち上げとして初回登録キャンペーンの実施により、令和4年(2022年)3月時点で62人であり、目標値を達成している。
- 令和4年(2022年)4月からの本格運行より、キャッシュレス決済を対象とした料金割引を導入しており、引き続き、キャッシュレス決済システムの周知・新規登録者獲得に向けた取組みの推進を図るものとする。

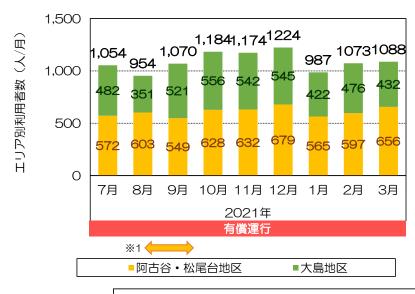
【参考】キャッシュレス決済の利用状況

- チョイソコいながわは、7月からの有償運行の開始に合わせて、顔認証システムを活用したキャッシュレス決済を導入している。
- 令和4年(2022年)3月時点におけるキャッシュレス決済の利用率は33%である(※日本でのキャッシュレス 決済比率は令和2年(2020年)で約30%)。

●キャッシュレス決済利用率の推移(有償運行開始以降)



【参考】エリア別利用者数(有償運行開始以降)



: 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間 (※1:2021年8月20日~9月30日)

【参考】日本のキャッシュレス決済比率

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
クレジットカード	15.4%	16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%	25.8%
デビットカード	0.15%	0.14%	0.30%	0.37%	0.44%	0.56%	0.75%
電子マネー	1.3%	1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%	2.1%
QR⊐−ド	_	ı	ı	ı	0.05%	0.31%	1.10%
計	16.9%	18.2%	20.0%	21.3%	24.1%	26.8%	29.7%

出典: 令和3年(2021年) 度第1回 キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会(令和3年(2021年)8月27日開催 経済産業省)